

## 20

## 人口減少を克服する地域づくり推進プロジェクト

## 概要

人口減少・高齢化が進行する中においても、中心市街地や中山間地域等の元気を維持・創出する地域づくりを推進するとともに、農業試験場等跡地の活用等を通じ、新しい「まち」のデザインを開始する

## 重点策

- 70 快適でにぎわいのあるまちづくりの推進
- 71 「やまぐち元気生活圏」の形成の加速化
- 72 中山間地域でのビジネスづくりの推進

## (1) 成果指標の状況

| 成果指標 | 進捗状況          | 指標数 | 主な指標                        |
|------|---------------|-----|-----------------------------|
|      | ★★★★★ (目標を達成) |     |                             |
|      | ★★★★ (計画を上回る) |     |                             |
|      | ★★★ (ほぼ計画どおり) | 2   | 立地適正化計画に防災の観点を取り入れた市町の数 等   |
|      | ★★ (計画を下回る)   | 2   | やまぐち元気生活圏づくりに取り組む地域数 (累計) 等 |
|      | ★ (計画から大幅に遅れ) |     |                             |

## (2) 県民実感に係る調査結果

| 調査区分        | 調査項目                                   | そう思う | どちらでもない | そう思わない |
|-------------|----------------------------------------|------|---------|--------|
| 県民実感度調査 (%) | 快適で暮らしやすい住環境づくりが進んでいると思いますか。           | 16.1 | 48.5    | 33.5   |
|             | 中山間地域の暮らしを守り、地域づくりを支援する取組が進んでいると思いますか。 | 9.3  | 46.4    | 41.9   |

## (3) 主な取組と成果

## 主な取組と成果

## ◆「やまぐち元気生活圏」の形成の加速化

- 市町や地域が主体的に取り組む**地域づくり活動**に対して、専門家や大学生等の外部人材の活用や、地域活力の創出を目的とする補助金などによる支援を実施。(R6 年度補助件数：27 件)
- 地域づくりの機運がある地域を対象とした伴走型支援や、地域課題に対して主体的な取組に対する支援等により、**やまぐち元気生活圏づくり**に取り組む地域数が増加。  
71 地域 (R4 年度) → 81 地域 (R6 年度)

## ◆中山間地域でのビジネスづくりの推進

- **地域滞在型交流の促進や機運醸成**を促すためのセミナーや、地域滞在型交流の担い手を育成するための研修等を実施。

## ◆ 快適でにぎわいのあるまちづくりの推進

- コンパクトなまちづくりの推進に向け、国土交通省職員や学識経験者を講師とした**情報交換会を開催**するなど、きめ細かな情報提供を実施し、立地適正化計画の策定・見直し等に取り組む市町数が増加。**(立地適正化計画に防災の観点を取り入れた市町の数 7 市)**
- 農業試験場跡地の利活用に向けて、地元山口市との連携の上、敷地内の地盤高や水路の流下能力の把握等を行うとともに、農業試験場跡地利用基本計画(素案)の公表とパブリック・コメントを実施。

## (4) 総評

総  
評

人口減少や高齢化は加速しており、「やまぐち元気生活圏」の形成や地域課題の解決に向けた取組など、進捗に遅れのある地域づくり活動の支援等を通じて、人口減少下にあっても活力を維持・創出し続ける持続可能な地域づくりを推進することが求められている。

## (5) 課題と今後の展開方向

課  
題  
と  
今  
後  
の  
展  
開  
方  
向

### ◆「やまぐち元気生活圏」の形成の加速化

- コロナ禍の影響等により停滞した地域づくり活動が再開する中で、地域の主体的な取組を支援するなど、住民同士の支え合いによる地域力の再構築が必要である。
- 地域で住民が安心して暮らし続けることができるよう、「元気生活圏」づくりの取組を県内各地に広げるとともに、自立に向けて、収益事業等に取り組む地域経営会社の設立など、地域に好循環を生み出す仕組みづくりを推進する必要がある。

### ◆中山間地域でのビジネスづくりの推進

- 都市農山漁村交流を、地域とのより深い関わりにつながる地域滞在型交流へと発展させるため、地域の取組状況に応じた支援や、新たな担い手の育成に取り組むことにより、新たな人の流れを創出・拡大し、地域活性化を促進する必要がある。

### ◆快適でにぎわいのあるまちづくりの推進

- 市町の課題解決に向けた情報交換会の開催やアドバイザーの派遣等を実施することにより、防災の観点を取り入れた質の高い立地適正化計画の策定は、概ね計画通りに進展している。地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくりに向け、引き続き、市町の取組を支援していく必要がある。
- 県支援チームと民間アドバイザーが一体となって、市町の目指すまちづくりに応じ、計画策定に向けた支援を行っているところであり、引き続き、将来にわたって活力を維持・創出し続ける持続可能なまちづくりを進めるため、市町の取組を支援していく必要がある。
- 民間事業者の創意工夫を活かしながら、将来にわたり自立発展し地域全体の価値が高まる「まち」の仕組みの構築に向け、農業試験場跡地利用基本計画に沿って跡地利用の具体化を進める必要がある。